

地域トピックス

～地区センターからの話題をお届けします～

◆元気にあいさつ — 遠野町 —

青少年の健全育成を目的とした「あいさつ運動」（遠野町防犯協会など主催）は11月13日、遠野小学校、遠野中学校校門前で行われました。この日は冷え込みが一段と厳しい朝でしたが、防犯協会員など17人が参加。「おはようございます」の声掛けに、児童・生徒たちは元気にあいさつをしていました。なお、この活動は来年3月までの毎月第2金曜日（1月は第4金曜日）、朝7時半から行われる予定です。



元気にあいさつをする遠野小学校の児童

◆楽しんで介護を予防 — 宮守町 —

「セラバンドで気軽に健康づくり教室」は11月4日、宮守健康管理センターで開講しました。介護予防の運動を目的としたこの教室には、60歳以上の13人が参加。セラバンドを使った簡単なストレッチや、ゴムの抵抗力を利用した足腰の運動など、自分の体力に合わせて楽しみながら心地よい汗を流しました。照井昭枝さん(65)は「この運動のおかげで、すっかり体調が良くなりました」と笑顔を見せました。



セラバンドの抵抗力を使いゆっくり体を動かす参加者



テンポの良い演奏に、体全体でリズムを刻む児童たち

ジャズのリズムに酔いしれる 上郷小学校でミニコンサート

椎名豊さん、ティム・アマコストさん、デーモン・ブラウンさん、本川悠平さん、広瀬潤次さんで構成する椎名豊クインテットは11月9日、交流ホールでのコンサートに先立ち、上郷保育園と上郷小学校で、ジャズの楽しさを伝える授業を行いました。「星に願いを」やアニメ「ルパン三世」のテーマのほか、会場の雰囲気に合わせて即興での演奏も披露し、児童たちを楽しませました。佐々木奎太くん、菊池幹太くん（ともに6年）は、「初めて聞いたけれど、体が自然に音楽にのりました」と興奮した様子で話していました。



一度に複数と対局する多面打ちで指導に当たる武宮五段(左)

交流を深めながら腕前磨く プロを招き囲碁まつり開催

市民囲碁まつり（日本棋院遠野支部主催）は11月14・15の両日、大工町の浄化センターで行われ、市内外の囲碁愛好家ら25人が参加しました。15回の節目に当たる今回は、日本棋院所属のプロ棋士武宮陽光五段＝東京都＝を招待。参加者は囲碁大会で交流を深めながら互いの腕を競い合ったり、武宮プロから指導を受けたりするなど、充実した二日間を過ごしました。菊池元年さん(20)＝東館町＝は「高校から囲碁を始めて今回で4回目の参加です。プロと対戦できるのはめったにない機会です、とても貴重な体験でした」と話していました。



消防署員がAEDの正しい使用方法を説明

家族みんなで火災予防学ぶ 火災予防フェアで啓発活動

「火災予防フェア」は11月15日、松崎町のホームック遠野店駐車場で行われました。会場には救急車や消防車両4台が集結し、体験乗車や放水体験、レスキュー体験など子どもが楽しめる催しが盛りだくさん。時折小雨がぱらつくあいにくの天気にもかかわらず、多くの家族連れでにぎわいました。また、住宅用火災警報器やAEDの正しい使用方法が説明され、家族で楽しみながら火災予防を学びました。菅原鎌君(5つ)＝宮守町宮守＝は「救急車の一番前の席に乗りました。とてもかっこ良かったです」と笑顔を見せていました。



気分はレスキュー隊！本物さながらの表情でレスキュー体験

いつまでもお幸せに 恋人きっぷ贈呈式

「恋人きっぷ」贈呈式は11月22日、「恋人の聖地」に認定されたためがね橋で行われました。この切符は、遠野市観光協会がより多くの人にめがね橋を訪れてほしいと作成したもの。「いい夫婦」の日にちなんで11時22分に配布が開始され、10月に挙式した浅沼高德さん、泉栄さん夫妻＝宮守町宮守＝に第1・2号切符と記念品が贈られました。二人は「最高のいい夫婦でいられるよう、仲良く暮らしたいです」と笑顔で話していました。切符は1,000枚限定で、めがねばし直売所で無料配布されています。



恋人きっぷと記念品を受け取る浅沼夫妻

「まちかたことば」でおもてなし 池端の石臼祭

池端の石臼祭は11月1日、中央通りの石臼神社前で行われました。「一日市おかみさんの会」（松田和子会長、会員24人）の会員が、『遠野物語』第27話の不思議な石臼のお話を初めて披露。5人のおかみさんたちが「むかーし、あったそうござんすよ」と「まちかたことば」で始めると、訪れた人たちは笑顔で聞き入っていました。菊池清子さん＝早瀬町＝は「すぐ近くに住んでいましたが、じっくり聞いたのは初めて。まちかたことばが趣き深くてとても良かったです」と話していました。



和やかな雰囲気の中で昔話を披露するおかみさんたち